

17 18 R.

報道参考資料
平成7年2月7日
気 象 庁

平成7年(1995年)兵庫県南部地震に関する現地調査結果について

平成7年(1995年)兵庫県南部地震の発生に伴い、気象庁は直ちに現地の神戸市等阪神地域及び淡路島に地震機動観測班を出動させ、大阪管区気象台等関係気象官署とともに現地調査等を実施した。この調査に基づく当地の被害状況及び震度7の地域は、以下のとおりである。

〔神戸市等阪神地域〕

神戸市の垂水区、須磨区、兵庫区、長田区、中央区、灘区、東灘区の各区や芦屋市、西宮市等において、海岸沿いの幅約2km、延長約30kmの地域に大きな被害が見られた。

この中で、家屋等の倒壊が著しく震度7と見られる地域は、須磨区鷹取、長田区大橋、兵庫区大開、中央区三ノ宮、灘区六甲道、東灘区住吉や芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川等にほぼ帯状に分布している。また、上記の地域からやや離れた宝塚市においても震度7の地域が見られた。

〔淡路島〕

野島断層で新たな断層運動が生じていることを確認することができ、島北部の北淡町、一宮町において、この断層に沿うように震度7の地域が分布していた。また、津名町においても震度7の地域が見られた。

本件に対する問い合わせ先：地震津波監視課調査官

鉢嶺 猛(内線4514)

現地調査による震度7の分布

「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」

